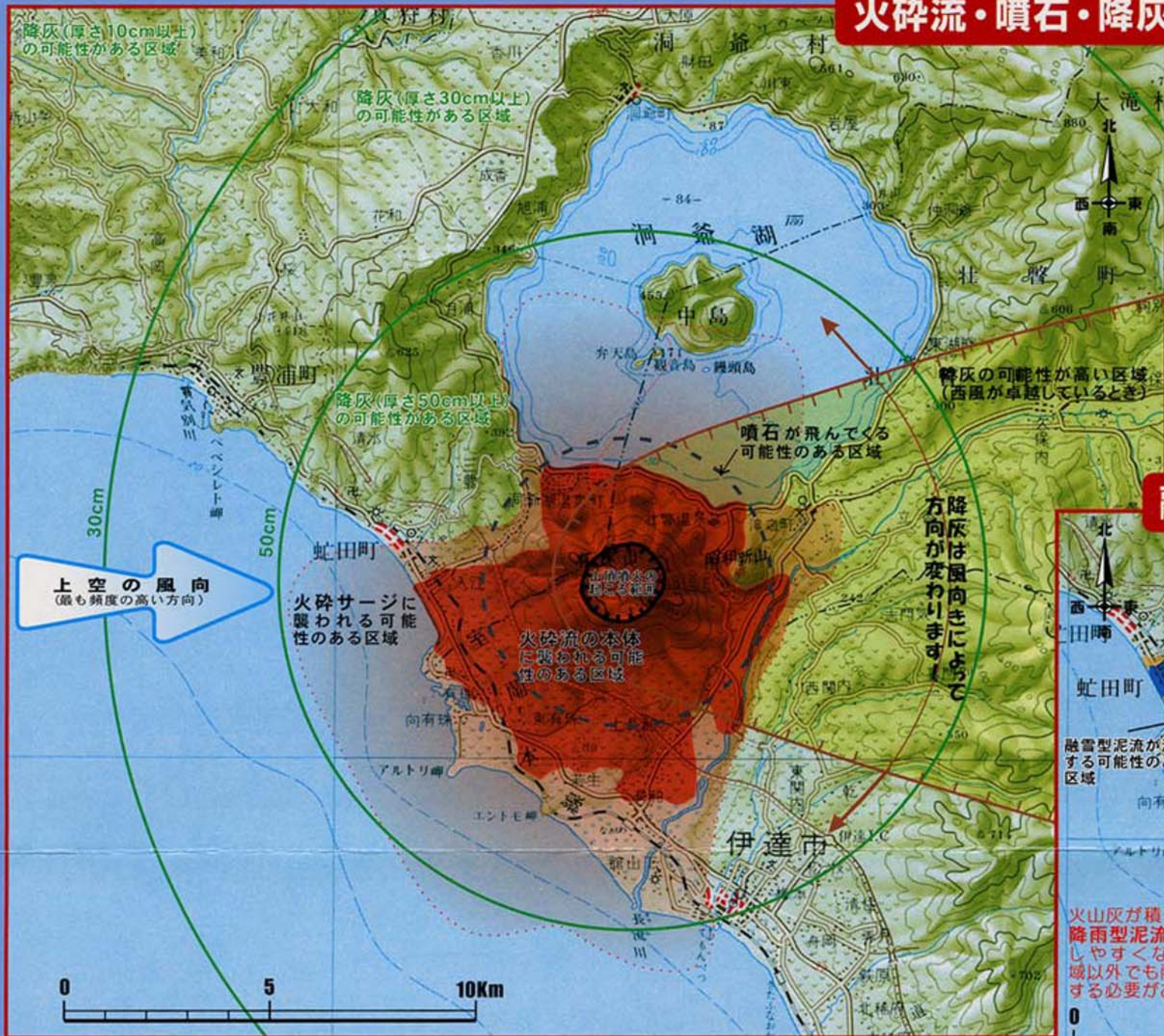


有珠山火山防災マップ

＝ 新たなる備えのために ＝

● 見やすいところに貼っておきましょう

山頂噴火の危険区域予測図



この予測図は、1822年(文政5年)噴火と同じ規模の山頂噴火が起きた場合に、予想される災害の範囲を示したものです。

噴火の規模や気象条件などによって危険区域の範囲は変わります。

融雪型泥流・降雨型泥流(土石流)



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分の1の地勢図を複製したものである。(承認番号)平13道複第663号」

山麓噴火の危険区域予測図

火口の位置によって危険区域は変わります!



山麓噴火はある限られた地域で起きるので、この危険区域全体が同じように危険だということを示しているわけではありません。火口の位置については事前に特定することが出来ないため昭和神山噴火と同じくらいの規模の「山麓噴火が起こる可能性のある範囲」の全域を総合して示してあります。実際の山麓噴火では、火口の位置によってこの図の一部分が噴石や火砕サージの危険区域となります。噴火がはじまった場合には、火口の位置にあわせた危険区域があらためて示されます。噴火の規模などによっても、危険区域の範囲は変わります。



避難場所は、
避難場所は、確認し記入しておきましょう

集合場所

避難場所

